

62nd Japan Federation of Architects & Building Engineers Associations
HOKKAIDO Conventions 2019
第62回建築士会全国大会「北海道大会」

みらい
明日のまちに輝きを――



大会シンボルについて

建築の幾何学的な美しさと力強さをイメージしたもので、
太くシャープなラインでテーマのRe+をシンボリックに表現した。

開催期間 令和元年 9月21日・22日
開催地 函館市

主催 公益社団法人 日本建築士会連合会
主管 一般社団法人 北海道建築士会
後援 国土交通省・北海道・函館市
発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042
札幌市中央区大通西5丁目11番地 大五ビル6F
TEL 011-251-6076
FAX 011-222-0924

<https://h-ab.com>

デザイン・編集 函館デザイン協議会

タイムスケジュール

8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

9月21日(土) 全国大会

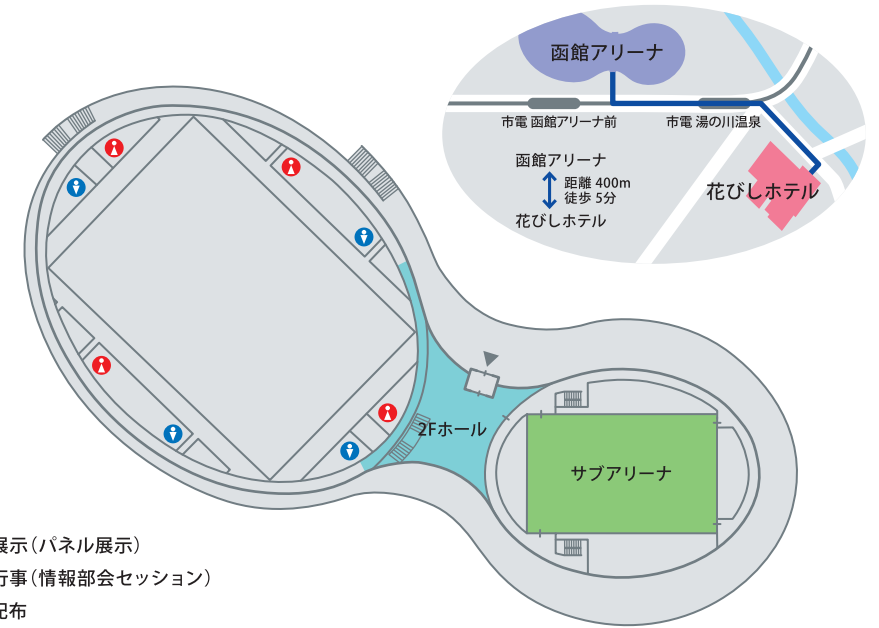
総合受付	9:00~17:30	1F ホール
クローク	9:00~20:00	1F ホール
青年委員会セッション	9:30~12:30	1F 武道館A
女性委員会セッション	10:00~12:00	1F スタジオB
景観・街中(空き家)まちづくりセッション	10:00~12:00	1F 武道館C
福祉まちづくりセッション	10:00~12:00	1F 多目的会議室B
防災まちづくりセッション	10:00~12:00	1F スタジオA
環境部会セッション	10:00~12:00	1F 多目的会議室A
情報部会セッション	10:00~12:00	2F ホール
歴史まちづくりセッション / 第7回ヘリテージマネージャー大会	10:00~12:00	花びしホテル2F 芙蓉の間
記念講演	13:00~14:30	1F メインアリーナ
大会式典	15:00~17:00	1F メインアリーナ
大交流会	17:30~19:15	2F サブアリーナ
函館夜景バスツアー (函館アリーナ発貸切バス)	20:00~22:00	函館山展望台
記念展示(作品賞等パネル展示)	10:00~15:00	2F ホール
企業出展ブース	10:00~17:00	1F メインアリーナ回廊
北海道物産コーナー	10:00~15:00	1F ホール
昼食(事前申込/弁当配布)	11:00~13:00	2F ホール
昼食(当日販売/屋台村)	11:00~14:00	屋外 ともえ広場

9月22日(日) 地域交流見学会(エクスカーション)

Aコース 函館の歴史的建造物街並見学	9:00~12:00	集合) 函館市地域交流まちづくりセンター 解散) 赤レンガ倉庫群
Bコース 函館の重要文化財見学	9:00~16:45	集合) JR函館駅 解散) 当駅~函館空港
Cコース 函館の近代建築見学	9:30~12:00	集合) 函館市地域交流まちづくりセンター 解散) 赤レンガ倉庫群
Dコース 日本遺産「江差いにしえ街道」散策	8:30~17:20	集合) JR函館駅 解散) 当駅~函館空港
Eコース 縄文遺跡とニセコ・小樽の街並見学	8:00~18:00	集合) JR函館駅 解散) JR札幌駅

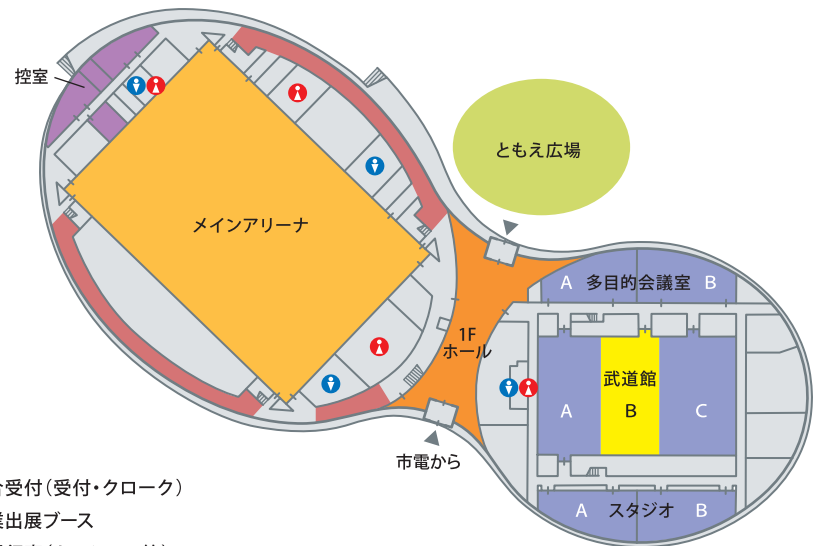
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

函館アリーナ 会場案内



2F

- 記念展示(パネル展示)
- 会場行事(情報部会セッション)
- 昼食配布
- 大交流会



1F

- 総合受付(受付・クローク)
- 企業出展ブース
- 会場行事(セッション等)
- 北海道物産コーナー
- 屋台村(昼食)
- 記念講演
- 大会式典
- 来賓控室
- 大会運営事務局

(一社)北海道建築士会

札幌支部	支部長	長谷川敏文
千歳支部	支部長	吉川 政二
恵庭支部	支部長	歳桃 勝幸
北広島支部	支部長	関川 修司
石狩支部	支部長	佐藤 壽治
函館支部	支部長	山内 一男
桧山支部	支部長	佐藤 久
小樽支部	支部長	鈴木 道夫
後志支部	支部長	榊 政信
岩内支部	支部長	上野 憲之
余市支部	支部長	赤石 達也
古平支部	支部長	堀江 昭夫
室蘭支部	支部長	川田 寿之
苫小牧支部	支部長	中原 茂人
日高支部	支部長	山下 聡
空知支部	支部長	仁志 紘一
北空知支部	支部長	田中 昌幸
留萌支部	支部長	舛田 彰
旭川支部	支部長	中澤 光夫
士別支部	支部長	土岐 浩二
富良野支部	支部長	軽米 達也
上富良野支部	支部長	健名 康則
名寄支部	支部長	遠藤 光博
十勝支部	支部長	鈴木 徹
釧路支部	支部長	大宮 敦男
根室支部	支部長	敷浪 徹
中標津支部	支部長	佐々木 優
網走支部	支部長	塩川 顕児
北見支部	支部長	因 芳広
美幌支部	支部長	伊藤慶三郎
紋別支部	支部長	稲葉 宏剛
遠軽支部	支部長	高橋 利己
斜里支部	支部長	原 健治
宗谷支部	支部長	片山 徹也

CONTENTS

03	目次
04	大会宣言
06	歓迎のこたば 一般社団法人 北海道建築士会 会長 高野 壽世
08	挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会 会長 三井所 清典
10	祝辞 北海道知事 鈴木 直道
11	祝辞 函館市長 工藤 壽樹
12	祝辞 大韓建築士協會 會長 石 正勳
14	大会概要
15	記念講演 株式会社 藤本壮介建築設計事務所 代表 藤本 壮介氏
16	青年委員会セッション
17	女性委員会セッション
18	景観・街中(空き家)まちづくりセッション
19	福祉まちづくりセッション
20	防災まちづくりセッション
21	環境部会セッション
22	情報部会セッション
23	歴史まちづくりセッション/第7回ヘリテージマネージャー大会
24	大会式典プログラム
25	大会式典会場案内図
26	記念展示
27	企業出展
28	地域交流見学会 Aコース 函館の歴史的建造物街並見学
29	地域交流見学会 Bコース 函館の重要文化財見学
30	地域交流見学会 Cコース 函館の近代建築見学
31	地域交流見学会 Dコース 日本遺産「江差いにしえ街道」散策
32	地域交流見学会 Eコース 縄文遺跡とニセコ・小樽の街並見学
33	各ルート・都市間アクセス
34	来賓芳名
39	表彰者
43	協賛・協力・実行委員会
44	アクセス
45	広告

第62回建築士会全国大会「北海道大会」

大会宣言

江戸時代の末1859年、時代の大きなうねりの中、函館は、横浜、長崎とともに開港し、歴史的にも重要な舞台となった地であります。その函館港が、開港160年を迎える令和元年という節目の年に、ここ函館において、建築士会全国大会北海道大会を開催できますことは望外の慶びであります。

少子化と急速に進む高齢化により、我が国の人口が、減少に向け一歩を踏み出したこの時こそ、私達は、地域がしっかりした生活圏として成り立つ術を考えなければなりません。

いまや人口減少は、空き家、シャッター商店街といった現象に拍車をかけ、地域経済の縮小やまちなみ崩壊の要因となっており、全国の建築士会のいずこも、地域の活力の持続、向上に心を砕いて様々な活動を進めております。

本大会においては、平成にも増して急激な社会環境の変化が予想される令和の時代に向け、まちの再生から創生へと続く私たち建築士の役割を考え、各セッションをはじめとした全国から参集された建築士の皆様との交流により、建築士会の魅力に改めて触れ、気づく機会になることを期待しております。

ここに本大会テーマを「リクロス みらい **Re+**」「明日のまちに輝きを」と掲げ次のとおりアピールする。

本年5月、平成から令和に元号が変わりました。平成の30年余りは、自然災害の多い時代でした。阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨等まだ復旧・復興の途中でもあります。自然災害は地震に止まらず、火山噴火、台風の日本列島直撃や豪雨災害等発生が頻発しています。私たち建築士は、防災・減災など自然災害にどのように対応し、行動すべきでしょうか。

建築士会は30年も前から、まちづくりを担う建築士が各専門分野別に自治体支援を拡大する活動を始めており、相互に連携することで、大きな力となり徐々に地域のまちづくりにその成果が実りつつあります。

少子高齢化は、私たち建築業界に深刻な人材不足をもたらしており、女性や高齢者、外国人人材の受入れ拡大等、早期に対応を図らなければなりません。更には、自然災害対応やまちづくり活動等、社会的諸課題に積極的に向き合うため、建築士会には会員の増強が急務であり、これらの活動が円滑に機能し、継続することが重要となります。

いにしえ
古の中心都市であった、ここ北海道函館の地で、全国47都道府県建築士会会員が一堂に会し、ともに声を揃え新たな誓いとして、次の通り宣言いたします。

- 一、自然災害への対応やまちづくり活動などに、専門家集団として、常に起動できる体制を自治体と連携して備える
- 一、技術の伝承、産業の持続的発展のため、担い手が働きやすい環境整備に努める
- 一、建築士会活動が円滑に機能し、継続するために共感できる会員の獲得に努める

歓迎のことば



高野 壽世

一般社団法人 北海道建築士会 会長

爽やかな風が吹きわたり、実りの秋を迎える函館の地で開催されます第62回建築士会全国大会「北海道大会」へようこそおいでくださいました。心から歓迎いたしますとともに、このように多くの皆様にご参加いただきましたことに、感謝を申し上げます。

また、本日は、ご多端にもかかわらず、国土交通大臣、北海道知事、函館市長、並びに多数のご来賓の皆様、そして友好団体としてお越しいただいた大韓建築協会会長をはじめ会員の方々のご臨席を賜り、篤く御礼申し上げます。

今から12年前、帯広市で開催いたしました第50回建築士会全国大会「北海道大会」は、前日からの台風の影響による交通機関の混乱等により、大勢の方々に参加できませんでした。いまだに、それらの方々からその時の飛行機の欠航状況のお話しなど、その顛末をお聞きする機会があり、大変心苦しく思っていたところであります。今大会は、そのことを払拭して余りあるかのように、皆様とともに開会を迎えることができ感慨を新たにしております。

今年に入り、6月には新潟、そして8月には宮城・福島と地震が頻発し、心配は尽きないところでありますが、昨年は、6月の大阪北部地震、そして、西日本での豪雨と大きな災害が続き、一息つく間もない9月6日、本会の足もと北海道において震度7の地震が発生いたしました。この胆振東部地震により、震源地に近い厚真町で大規模な土砂崩れ、札幌市清田区の宅地の液化化など、甚大な被害をうけたところであります。特に、北海道全域が停電するという前代未聞の大規模停電となり、被災情報の確認が携帯

ラジオに頼らざるを得ないという、電気のない生活を多くの道民が強いられ、改めて震災に対する備えの多様さを実感させられたところです。被災地の復興はまだ道半ばであります。皆様方から寄せられました暖かいご支援、そしてエールに、この場をお借りしまして心から感謝申し上げます。

函館は、「江差の五月は江戸にもない。」と謳われるほど多くの北前船が行き来し、ニシン漁で賑わった江差と同様に、早くから拓けたところであります。昨年は北海道命名から150年の年でありましたが、今年は函館港が江戸時代の末1859年、横浜、長崎とともに我が国最初の外国貿易港として、開港してから160年にあたる節目の年であります。

本大会においては、開拓時から培われたフロンティアスピリットのもと、新しい文化や技術を受け入れてきた函館を念頭に「Re+（リ・クロス）」「明日（みらい）のまちに輝きを」をテーマといたしました。本大会では、少子化と急速に進む高齢化により、我が国の人口が、減少に向け一歩を踏み出したいま、まちの再生から創生へと続く私たち建築士の役割を考え、各セッションをはじめとした全国から参集された建築士の皆様との交流により、建築士会の魅力に改めて触れ、気づく機会になることを期待しております。

結びに、皆様の全国大会北海道大会へのお力添えに心から感謝申し上げますとともに、皆様方の一層のご健勝とご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



三井所 清典

公益社団法人 日本建築士会連合会 会長

本日、公益社団法人日本建築士会連合会が、第62回建築士会全国大会「北海道大会」を、ここ函館の地で、「Re+ リクロス みらい 明日のまちに輝きを」を大会テーマに掲げて開催いたしましたところ、公務ご多忙の中、国土交通大臣を始め北海道知事、函館市長並びに関係団体の代表の方々にご出席いただきましたことは、私ども建築士会にとりまして、真に光栄のことと、心より感謝申し上げます。

さて、私ども公益社団法人日本建築士会連合会は現在、建築士法で規定する一級建築士の登録・閲覧等の事務を担う「中央指定登録機関」として、各都道府県建築士会のご協力の下、その運営に万全を期し任に当たっているところでありますが、今般の建築士法改正により、これまで受験要件であった実務経験審査は建築士免許登録時の要件に変更されました。これにより、一級建築士については中央指定登録機関である本会がその実務審査も担うこととなります。また、二級・木造建築士の実務審査においては、一部の建築士会を除き、各都道府県建築士会がその任を担うこととなります。

わたくしたち建築士会は以前にも増して気を引き締め、これらの事務を滞りなく引き継ぎ、円滑に運営して行かなければなりません。

一方、私ども建築士会連合会では、地域社会の健全な発展に資するために、30年以上も前から、地域の自治体と密接な連携の下に、様々なまちづくり活動を実施しております。具体的には、景観、防災、歴史、街中(空き家)、福祉に係る五つのまちづくり活動を各建築士会のご協力の下に、全国展開を繰り返しており、一昨年から「木のまちづくり」の活動も始めております。

とりわけ、福祉に係るまちづくりについては、高齢化社会にあって、健康・医療や介護の問題は喫緊の課題です。人口減少により過疎化が進む地域に暮らす年長の方々への手当は、今やまったなしの状況に直面しており、わたしたちは建築を通したまちづくりの視点から、この課題に地元自治体と連携しつつ、アプローチすることが重要だと考えております。

さらには、森林環境税、森林環境譲与税や、改正国有林野管理経営法が可決・成立されました。国土の約三分の二を占める森林大国である我が国が、自国の木材を有効に使い、建物を始め様々な分野で積極的に活用されることが期待され、林業に携わる方々の安定した雇用創出にも寄与するものと、期待しているところであります。ただ、乱伐を防ぎ、伐採後の再造林も併せた施策が今後、国には求められるのではないのでしょうか。

また、地域に眠る社会的財産である建築物の掘り起こしや修復、評価、まちの活性化へと繋げていく一連の活動も、建築士の果たす重要な役割と考えております。これらの活動を更に推進するには全国の建築士・建築士会の力の発揮なしには、成し遂げられるものではありません。

今後とも、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本大会開催のために数年来の歳月を重ね、準備万端、ご尽力をいただきました北海道建築士会高野会長始め、役員並びに会員の方々、事務局のお骨折りに感謝申し上げますとともに、ご支援を賜りました道、市や地元の関係者のご厚意とご理解に対し、心より御礼申し上げ、挨拶とさせていただきます。

祝 辞



工藤 壽樹

函館市長

第62回建築士会全国大会「北海道大会」が多くの皆様方のご出席のもと、ここ函館で盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国からお越しいただきました皆様を心より歓迎申し上げます。

建築士会の皆様方におかれましては、長きにわたり建築分野における専門的知識・技能の向上に御尽力され、建築活動を通じて、地域の発展とまちづくりに寄与されておりますことに、深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

全国的に少子・高齢化が進行し、人口が減少しておりますが、函館市では、持続可能な都市経営が可能となるよう、「立地適正化計画」を策定し、利便性の高いエリアに医療・福祉・商業等の都市機能と居住機能を集約し、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進めております。

また、住む人や訪れる人が見て、歩いて感じて楽しいまちをめざす「ガーデンシティ函館」の取り組みとして、函館山遊歩道の整備や坂道の美装化など、デザイン性の高い美しい町並みの整備を進めております。

とりわけ函館発祥の地である西部地区におきましては、空家・空地の解消、狭小・未接道敷地の改善などを進めるとともに、地域の魅力向上を図りながら、現在住んでいる方はもとより、市内外から多くの方々に移り住んでいただける観光と居住が融合した良質な住宅地となるよう、再整備に取り組んでおります。

このようななか、皆様方が「Re+」をテーマに函館の地で、まちの「再生」から「創造」へと続く、輝く未来への物語について、議論を深められますことは、誠に意味深く、当市のまちづくりを進めていくうえでも大いに参考になるものと期待しているところであります。

結びに、本大会の御成功とともに、公益社団法人日本建築士会連合会のますますの御発展と、皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



鈴木 直道

北海道知事

令和という新たな時代が始まりました本年、函館市において、第62回建築士会全国大会「北海道大会」が盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地からご来道いただきました皆様を心より歓迎申し上げます。

また、公益社団法人日本建築士会連合会の皆様には、日頃よりそれぞれの地域において、時代の変化に応じたまちづくりや建築活動を通じて、地域社会の健全な発展と、安全で安心な暮らしづくりに努められておりますことに、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

全国の22%の面積を占める本道は、豊かな自然環境などに恵まれており、おいしい食やアイヌ文化をはじめとする独自の歴史と文化、個性ある179の市町村など多様な魅力があります。

道南地域に位置する函館市は、異国情緒あふれる建物や街並みなどの歴史的資源を有しています。

また、北海道新幹線、新函館北斗駅の開業もあり、国内外から多くの方々が訪れています。

さらに、まちの魅力を高めて、次世代へ継承するため、市民の皆様はもとより、国内外の様々な人が絆を結び、お互いに力をあわせ、ともに歩むまちとすることを目指しています。

本道が抱えるさまざまな課題を乗り越えるためには、道内だけでなく、道外からもあらゆる知恵や力を結集していくことが重要です。北海道を愛してくださる多くの方々を力合わせて、活力ある北海道を実現してまいりたいと考えています。

お集まりの皆様方には、本大会の記念講演のほか、歴史的建造物が建ち並ぶ街並みや重要文化財の見学会を通して、知識や技術の向上を図られるとともに交流を深め、今後のまちづくりに活かされますことをご期待申し上げます。

結びに、本大会のご成功と公益社団法人日本建築士会連合会の今後ますますのご発展、並びに、本日ご出席の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

石 正 勳

大韓建築士協會 會長



こんにちは、大韓建築士協會 會長の石 正勳 (ソク ジョンフン) と申します。

北海道函館市で開催の第62回建築士会全国大会「北海道大会」にお招きいただき、大韓建築士協會を代表して祝辞を述べさせていただく機会をいただきましたことは、大変光栄なことと感じておりますとともに日本建築士会連合会の三井所清典会長に感謝を申し上げます。

日本建築士会連合会と大韓建築士協會とは、1985年3月30日、「韓一日建築士交流促進に関する覚書」を締結し、34年の間、定期的な友好交流による相互訪問を続け、建築の情報交換や文化交流で両国の架け橋の役割を果たしております。

東北アジアをはじめ、世界的に国内外の建築士の交流と協力関係の構築への関心が高まっています。今日のように意味深い行事の開催による相互交流を通じて互いのお祝い事を共有し、国と国の境界を越えた継続的な交流の意義は、共同体意識をより深く構築することに繋がっていくと確信しております。

これから、一歩前進して、国際的共同体意識をもとに、両国が今日のようなイベントの開催を祝うことはもちろん、建築士の社会的責任に基づき国際相互協力関係を強固にしていくことを優先すべきではないかと思っています。

大韓建築士協會の第52回定期総会にお招きした際の三井所会長の祝辞から、最近日本と韓国で頻発している自然災害の発生とそれに伴う建築士の社会的責任及び役割について教えていただきました。また、第62回建築士会全国大会の開催地でありますここ北海道は、昨年(2018年)に発生した最大震度7の地震災害を乗り越えて、今日の全国大会の開催に至っています。

韓国でも浦項地震、慶州地震や韓国北東部の江原道での大規模な山火事などをきっかけに、今年5月16日「建築士災害安全支援団」が組織されました。これは国家災害発生における建築士の役割強化と建築物安全診断及び修復支援に迅速に行われるための努力の結果でした。

国際的な協力体系を構築し、建築士の責任意識の強化を実践するとともに、国家間の境界を越えた協力と支援を続けていきたいと思っています。過去、浦項地震発生時、日本建築士会連合会は、私たちに災害関連の指針を共有していただき、多くの助けを受けました。この機会を通じてもう一度感謝の言葉を申し上げます。

また、今後はさらに一歩進んで、両国の団体が追求している建築環境の改善、都市再生、未来の人材育成、建築文化と市民への広報、国際協力関係の構築、建築士の権益増進などにおいても国家の境界を越えた相互交流と協力が行われることを希望しています。

今年11月26日から29日までソウルのCOEX(韓国を代表する大型のコンベンション・センター)で大韓民国建築士大会が開催されます。今回の大会のテーマは「建築士、変化の中心に立つ」とサブタイトルには「変化する建築、進化する都市」と題して建築が今後進むべき方向と限らない変化に対応する方法について一緒に模索して、建築士としての公共の義務と役割を再確認する機会になるでしょう。

世界の著名な建築家の基調講演、展示、建築探訪、そして建築映画祭など、多様なプログラムが用意されています。日本建築士会連合会の役員、会員、ご関係者の皆様のご参加に期待しております。

最後に再び第62回建築士会全国大会「北海道大会」の開催のお祝いを申し上げ、日本建築士会連合会及び建築士会の継続的な繁栄と会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

ありがとうございました。

안녕하십니까, 대한건축사협회 회장 석정훈입니다. 홋카이도 하코다테에서 개최되는 제62회 일본건축사회연합회 컨벤션에 초청해주신 미이쇼 키요노리 회장님께 진심으로 감사드리며, 이같이 뜻 깊은 행사에서 축사를 드릴 수 있어서 대단히 영광입니다.

귀 연합회와 대한건축사협회는 1985년 3월 30일 「한-일 건축사 교류촉진에 관한 각서」 체결을 시작으로 34년 간 정기적인 상호 초청, 방문을 이어오면서 양국 건축 현황과 문화 교류의 가교 역할을 하고 있습니다.

동북아시아를 비롯하여 세계적으로 국내외 건축사 교류 및 협력관계 구축에 대한 관심이 높아지고 있으며, 오늘과 같이 뜻 깊은 행사 개최를 통해 국가 경계를 넘어선 공동체 의식을 구축하는 것이야말로 지속적인 교류의 의의라고 할 수 있습니다.

이제는 한발 더 나아가 국제적 공동체 의식을 바탕으로 양국이 오늘과 같은 행사 개최를 축하함은 물론 건축사의 사회적 책임을 바탕으로 국제 상호협력관계를 공고히 해나가는 데에 앞장서야 할 때입니다.

지난 대한건축사협회 제52회 정기총회에서 미이쇼 키요노리 회장님께서 축사를 통해 늘어나고 있는 일본과 한국의 자연재해 발생과 그에 따른 건축사의 사회적 책임 및 역할에 대해 말씀해 주셨습니다. 또한 제62회 일본건축사회연합회 컨벤션 개최지인 이곳 홋카이도 또한 지난 2018년 진도 7의 지진 피해를 입고 오늘 이 컨벤션을 개최하고 있습니다. 한국에서도 포항, 경주 지진과 강원도에서 산불 피해 등을 계기로 올해 5월 16일 '건축사 재난안전지원단'을 출범하였습니다. 이는 국가재난 발생에 있어서 건축사의 역할 강화와 건축물 안전진단 및 복구지원에 앞장서기 위한 노력이었습니다.

국가적 협력체계 구축 및 건축사 책임의식 강화를 실천함과 더불어 국가 경계를 넘어선 협력과 지원을 이어나가자 합니다. 지난 포항 지진 발생 시 일본건축사회연합회에서 저희에게 재난관련 지침서를 공유해 주셔서 많은 도움을 받았습니다. 이 기회를 통해서 다시 한번 감사의 말씀을 드립니다.

또한 앞으로는 한 단계 더 나아가 양국 협회가 추구하고 있는 건축환경 개선, 도시재생, 미래인재육성, 건축문화 대국민 홍보, 국제협력관계 구축, 건축사 권의 증진 등에 있어서도 국가 경계를 넘어선 상호 교류와 협력이 이루어지기를 희망합니다.

올해 11월 26일부터 29일까지 서울 Coex에서 대한민국 건축사대회가 개최됩니다. 이번 대회의 주제는 '건축사, 변화의 중심에 서다'와 부제는 '변화하는 건축, 진화하는 도시'로 건축이 앞으로 나아가야 할 방향과 끝없는 변화에 대응할 방법에 대해 함께 모색하고, 건축사로서의 공공의 의무와 역할을 되새기는 계기가 될 것입니다. 세계 건축저명인사의 기조연설 및 강연, 전시, 건축탐방 그리고 건축 영화제 등 다양한 프로그램이 마련되어 있습니다.

일본건축사회연합회 임원, 관계자 여러분과 회원께서 참여하시어 자리를 빛내 주시기 바랍니다.

다시 한번, 제62회 일본건축사회연합회 컨벤션 개최를 축하드리며, 일본건축사회연합회의 지속적인 변명과 회원 여러분의 건승을 기원합니다.

감사합니다.

大会概要

テーマ

リクロス

Re+ みらい 明日のまちに輝きを――会場… 函館アリーナ (函館市湯川町1-32-2)
花びしホテル (函館市湯川町1-16-18)

期日… 2019年9月21日 (土)

主催… 公益社団法人 日本建築士会連合会

主管… 一般社団法人 北海道建築士会

後援… 国土交通省、北海道、函館市



函館山からの眺望



八幡坂



函館アリーナ



ハリストス正教会



赤レンガ倉庫群



明治館 (旧函館郵便局)



路面電車



箱館奉行所



漁火夜景



姥神大神宮 (江差町)



旧中村家住宅 (江差町)



郡役所 (江差町)

記念講演

演題

"Between Nature
and Architecture"

講師 藤本 壮介氏 株式会社 藤本壮介建築設計事務所 代表

日時… 2019年9月21日 (土) 13:00~14:30

会場… 函館アリーナ1F メインアリーナ



L'Arbre Blanc (©SFA+NLA+OXO+RSI) 多目的タワー「ラルブル・ブラン (白い木)」



Mille Arbres (©SFA+OXO+MORPH) 複合施設「ミル・アルブル (1000本の樹)」



House NA (©IWAN BAAN)



House N (©IWAN BAAN)



©David Vintiner

ふじもと・そうすけ

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞、2015年パリ・サクレ・エコール・ポリテクニク・ラーニングセンター国際設計競技最優秀賞につぎ、2016年Réinventer Paris国際設計競技ポルトマイヨ・バーシング地区最優秀賞を受賞。2017年ベルギー・ブリュッセル国際設計競技最優秀賞、フランス・ニュース国際設計競技最優秀賞を受賞。2018年ザンクト・ガレン大学HSGラーニング・センター国際設計競技最優秀賞につぎ、フランス・ロニエヌス＝ボワ国際設計競技最優秀賞を受賞。主な作品に、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン2013 (2013年)、House NA (2011年)、武蔵野美術大学美術館・図書館 (2010年)、House N (2008年) 等がある。

青年委員会セッション

テーマ

地域実践活動発表会

運営 / 青年委員会

日時… 9月21日(土) 9:30~12:30

会場… 函館アリーナ1F 武道館A

定員… 240名(予定)

本セッションでは、全国で展開している青年建築士の活動をブロックごとに選出し、一同に発表する「地域実践活動発表会」を開催します。

各地域での建築に関する認識を深めるとともに、地域と建築士の「より良い」を目指すため、活動事例を参加者で共有し、今後の活動をさらに発展させるためのディスカッションを行います。着目点は各地域によりさまざま、これからの建築業界に向けた一般参加型事業や、防災・環境・福祉など地域コミュニティを考える事業、建築士のスキルアップに繋がる事業など、参加者にとって自県の活動のヒントになる時間となると考えています。また、発表された事例を参加者が吟味し、優れた事業に対する考察を行うことで、発表者のプレゼンテーション力や情報のまとめ方、周知の仕方など「建築士×伝える力」を見て感じていただける企画です。

これからの建築士・建築士会を担う青年建築士の発表をお楽しみください。



地域実践活動発表会イメージ

女性委員会セッション

テーマ

和の空間の魅力を探る…ふたたび

「魅力ある和の空間ガイドブック(WEB版)」の活用

運営 / 女性委員会

日時… 9月21日(土) 10:00~12:00

会場… 函館アリーナ1F スタジオB

定員… 80名(予定)

ライフスタイルが変化し、地域の環境に適した伝統的な住まいに暮らす人々が減り続けており、日本の住まいに培われてきた和の空間がなくなりつつあります。連合会女性委員会は、2016年より「和の空間」をテーマに取り組み、和の空間を体験し、その魅力を再認識できる建築を紹介するガイドブックを2018年9月に女性委員会のホームページに公開してから約半年が経過しました。現在も、このガイドブックを皆様に活用していただくよう、発信しているところです。

このガイドブックをさらに活用していただくために、各地域の作成者から和の空間について、詳しく具体的に伺います。直接作成者の思いを聞くことで再認識し、そして魅力を広めることを目的とします。また、説明を伺った建物について実際に現地へ訪れ魅力ある和の空間を体感することで、より深く理解し今後の設計活動に繋がります。



旧相馬邸(写真提供 / 旧相馬邸)



景観・街中(空き家)まちづくりセッション

テーマ

空き家等の適正管理と 利活用による景観の向上

運営 / 景観・街中(空き家)まちづくり部会

日時… 9月21日(土) 10:00~12:00

会場… 函館アリーナ1F 武道館C

定員… 80名(予定)

近年の人口減少や住宅の老朽化、社会的ニーズの変化により、利活用されない空き家が増加しており、それが適切に管理されず放置されています。そのため、周辺環境や景観に悪影響を与えていますので、早期に空き家を利活用するか、または除却することが必要です。しかし、その方向性を決定するまでには相当な期間を要する物件が多く、その間の維持管理が重要となります。

今年のさいたま大会では、「空き家等の利活用における建築士の役割」をテーマとし、空き家に関する研修会を実施された先進県からの報告や空き家流通促進のための協議会や他の専門団体との連携事業についての事例を学び、建築士、建築士会として何ができるかを話し合いました。

また、本年2月に開催された「第27回まちづくり会議」においては、空き家に関する問題について話し合い、神戸市でのその取り組みや奈良県での空き家プラットフォームの設立などを学びました。

今大会では、空き家の放置が周辺の環境や景観に悪影響を与えている現状を踏まえ、「どうすれば適切な管理が維持できるのか。」「どうすれば空き家を如何に早く流通させることができるのか」また、「除却後の空き地の景観をどのように、誘導するのか」について、建築士のまちづくりとして議論を進めたいと考えています。



榎原市空き家等対策プラットフォーム(13団体)調印式

福祉まちづくりセッション

テーマ

全国の観光バリアフリーと建築士について ハード整備とソフト対応のわかる建築士の育成

運営 / 福祉まちづくり部会

日時… 9月21日(土) 10:00~12:00

会場… 函館アリーナ1F 多目的会議室B

定員… 80名(予定)

全国のバリアフリーの施設整備は、各自治体の福祉のまちづくり条例により一定の成果を上げています。ところが、高齢者や障がい者の身近な小規模店舗や既存施設(社寺等含む)は取り残されたままの状態、大きな課題となっています。また、条例でハード面の整備が進む一方、ソフト面の対応の遅れが問われてきていますし、オリンピック・パラリンピック他海外から訪れる観光客などへの対応も迫られています。

高齢者や障がい者、外国の方々安心して訪れることができる観光地づくりの取り組みとして、10年ほど前から全国各地で活発化している「観光バリアフリー」の取り組みは、観光にとどまらず、日常の身近な小規模施設や社寺等既存施設のバリアフリー化にも繋がり、しかもハードだけではなくソフト対応にも広がり、旅行者だけでなく、地域に住む人々たちにとっても大きなメリットとなると捉えられています。多くの人たちが訪れること、街に出て利用することこそバリアフリー化推進の確かな道なのです。

われわれ建築士の役割として、地域の観光・宿泊・飲食・交通施設等の点・線・面的なバリアフリー調査の企画・実施・報告、改修のアドバイス等が考えられますが、そのためには、ハード整備とソフト対応のわかる建築士の育成と福祉まちづくり活動への参画が求められます。

そこで、福祉まちづくりセッションでは、「観光バリアフリー」の推進元である国土交通省観光庁の方をお招きして、皆さんと学び、語り合えるセッションを考えています。全国の建築士の皆さん、あなたの地域の「観光バリアフリー」の力となるべく、是非ともご参加下さい!



各地で取り組みをみせる観光バリアフリー

防災まちづくりセッション

テーマ

事前防災活動指針や 風水害復旧マニュアルのRe^リクロス^ス

運営 / 防災まちづくり部会

日時… 9月21日(土) 10:00~12:00

会場… 函館アリーナ1F スタジオA

定員… 80名(予定)

昨年度、防災まちづくり部会では、事前の備えとして熊本地震における熊本土会を中心に周辺士会が実施した復旧・復興支援策を再整理し、今後予想される大規模地震への復旧・復興支援活動の円滑な拡大を視野に、建築士会が講ずべき事前の施策として「建築士会事前防災活動指針」をまとめました。また、毎年のように発生する住宅の風水害に対して「風水害による被災住宅復旧マニュアル」も作成しました。

さいたま大会のセッションでは、先導的に事前防災活動の取り組みを実践している士会や、熊本地震や西日本豪雨による被災後の復興に取り組んでいる士会の活動報告から、各建築士会で取り組むことができる実践活動の項目や、その項目に対処する自治体との連携活動等について具体的協議をめざしていましたが、十分な成果を得ることはできませんでした。

「建築士会事前防災活動指針」や「風水害等による被災住宅復旧マニュアル」は、決して最終成果品ではありません。そこで北海道大会では、各士会や参加者が指針やマニュアルを活用、活動を展開した結果から明らかになった問題点や課題、活動支援の変化等について、セッションの協議を通して更新や拡大を図ることで、指針やマニュアルのRe^リクロス^スを行いたいと考えています。



防災まちづくりセッションイメージ

環境部会セッション

テーマ

SDGsの環境まちづくりに向けて 自治体主体で低炭素型定常社会を創りあげる

運営 / 環境部会

日時… 9月21日(土) 10:00~12:00

会場… 函館アリーナ1F 多目的会議室A

定員… 80名(予定)

埼玉大会で行う予定であったテーマを改めて今年度の全国大会で開催します。

地球温暖化の防止について、2015年にCOP21のパリ協定で脱炭素社会への移行が宣言されました。同年に国連で持続可能な17の開発目標(SDGs)を2016年から2030年までに実施する目標が掲げられ、世界の貧困や環境問題などの17の開発目標にしっかり取り組むことが提唱されています。これからの日本の地域社会でも、地球温暖化の防止と人口縮減社会というこの2つの課題について同時に自治体・コミュニティで解決しなくてはなりません。

昨年の大会ではCO₂排出量の削減という目標のもと、建築物省エネ法に関わる調査から地域の声を取り上げることがいかに重要か、地域の自主性を大事にするプロセスを今後とも進めていくことを確認しました。一方SDGsにおいて人口縮減社会でも、地域の歴史、風土を生かして定常社会を創りあげる方式を探し、その中にもものづくり力、発信力を高める試みがいくつかの自治体で生まれています。単位建築士会でも持続可能な17の開発目標に関連する活動が行われています。

今大会ではその関連性を明らかにして、自治体とともに今後の各地の単位士会の会員が地域の温暖化対策と人口縮減社会への対応のどのように力を尽くすことができるかSDGsを主題として熱く語り合う場といたします。



環境部会セッションイメージ

情報部会セッション

テーマ

建築士とAI(人工知能)との付き合い方

映える建築士のデバイス活用術

運営 / 情報部会

日時… 9月21日(土) 10:00~12:00

会場… 函館アリーナ2F ホール

定員… 60名(予定)

近年、インスタ映えなどSNSを中心とした情報共有が盛んに行われています。誰でも手軽に情報を提供でき、求める側は手軽に情報を得られる時代であり、企業においても一般の方へのPRにSNSを活用する動きが見られます。

私たち建築士の業務においても、スマートフォンの普及からアプリ等を活用した作業の効率化や情報共有が行われる時代となりました。一方で「AIによってなくなる業種」がネット上でも話題となり、近い将来の展望を危惧する方も少なくないと感じます。では、果たして「AI」は私たち建築士の業務を脅かす存在となりうるのでしょうか？

情報部会セッションでは、これからの建築士とAIとの付き合い方を考え、建築士をどのように世間に周知していくか？ また、建築士としての業務に生かせるツールの情報を収集し共有することで、作業の効率化、業務PRに繋げていくための意見交換の場としたいと思います。

そこで、大会開催前まで、皆さんより「これは使える！ デバイス・ソフト・アプリ」情報を提供いただき、セッション内での活用法などを検証し情報提供していきたいと思ひます。記載しておりますQRコードを読み取り、情報収集にご協力いただけますよう、よろしくお願ひいたします。



さまざまなデバイスツール

活用できるアプリ
情報アンケート



アンケートQR

歴史まちづくりセッション / 第7回ヘリテージマネージャー大会

テーマ

歴史的建物を使い続ける

持続する地域・まちづくり

運営 / 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会・歴史まちづくり部会

日時… 9月21日(土) 10:00~12:00

会場… 花びしホテル2F 芙蓉の間

定員… 300名(予定)

地域の歴史を物語る建物が、地域には必ず存在します。歴史的な建物は、その場所の履歴を語っているともいえます。歴史的な建物は、建物そのものの魅力だけでなく、その場所、そのまちの魅力にもつながっています。それらの建物は使い続けることによって、その場所の存在が生きられ、建物が立つ地域が生きられていきます。そして使い続ける建物には、使い続ける人々との実にいい関係が存在するのです。「使い続ける」をキーワードに、建物と人々、建物と地域、まちとのつながりを考え、生きられ持続していく地域やまちについて掘り下げてみたいと思ひます。

使い続けるために何が必要だったか、何が大切だったか。使い続けることがなぜ可能になったか。どのようなことを克服したから使い続けることができたか。使い続けることで何が見えてきたか。これからも使い続けていくために何が重要か。

建物を人にたとえれば、建物を使い続けるということは、人がずっと生き続けるということ、生命の血が流れているということです。建物に血が流れているということは、建物を使う人々が常にいて、人々がそのなかで活動し続けていくということです。

北の大地でずっと使い続けている住宅、学校や倉庫、洋館。それらの生きられている建物とともに、地域やまちの生き様をも照射したいと思ひます。



「歴史的建物を使い続ける」をテーマに行われたセッション風景

大会式典プログラム

日時…令和元年 9月21日(土) 15:00~17:00
 会場…函館アリーナ1F「メインアリーナ」

15:00 オープニングセレモニー 江差追分会

15:15 開会宣言 一般社団法人 北海道建築士会 副会長 久島 正嗣
 開催地会長挨拶 一般社団法人 北海道建築士会 会長 高野 壽世
 国歌斉唱
 物故者追悼
 主催者挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会 会長 三井所 清典
 来賓祝辞 国土交通大臣 赤羽 一嘉 様
 林野庁長官 本郷 浩二 様
 北海道知事 鈴木 直道 様
 函館市長 工藤 壽樹 様
 大韓建築士協會 会長 石 正勳 様

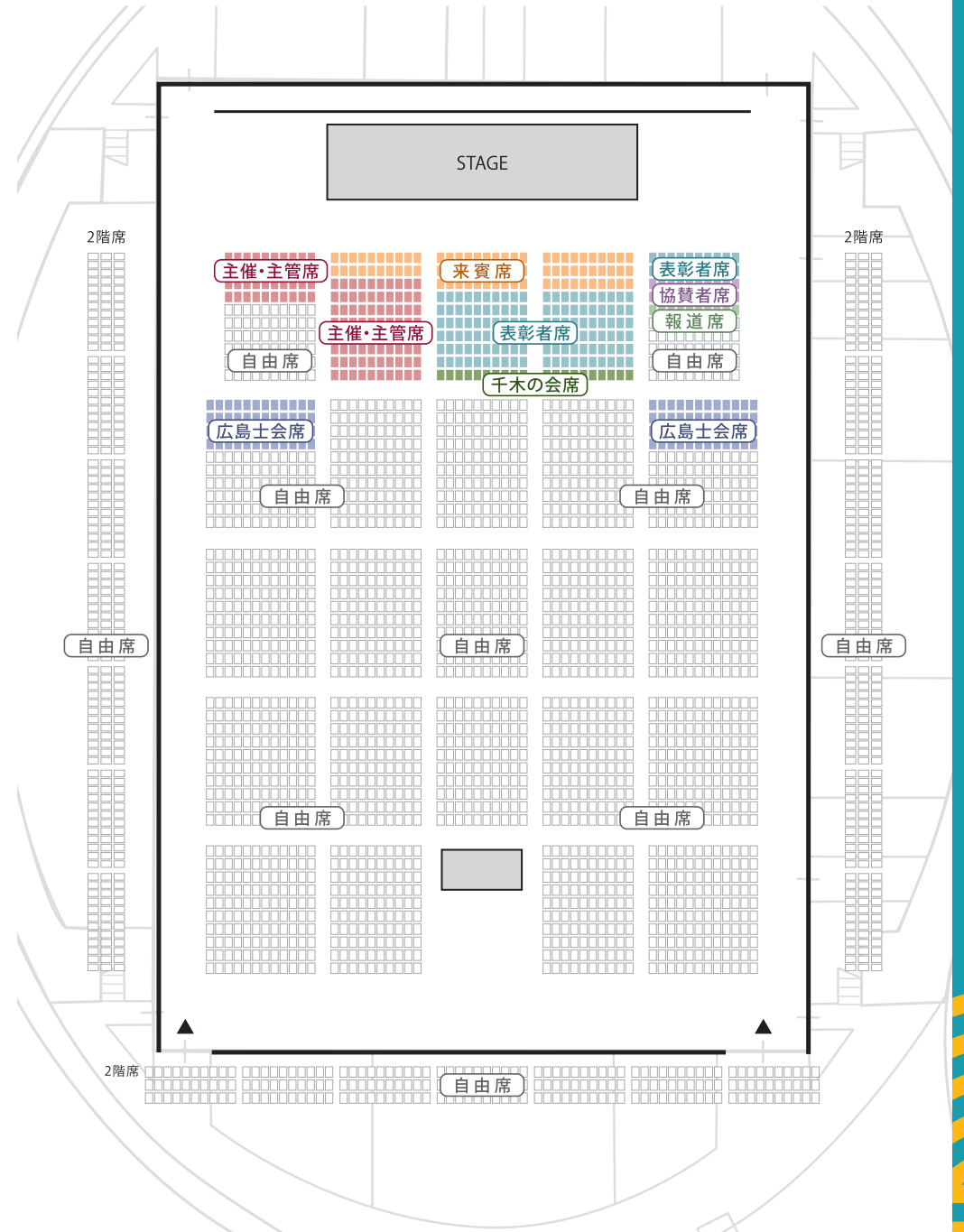
来賓紹介
 祝電披露
 表彰式

連合会会長表彰
 伝統的技能者表彰
 連合会賞表彰
 地域実践活動表彰 最優秀賞
 地域実践活動表彰 優秀賞

大会アピール 公益社団法人 日本建築士会連合会 副会長 岡本 森廣
 一般社団法人 北海道建築士会 会長 高野 壽世

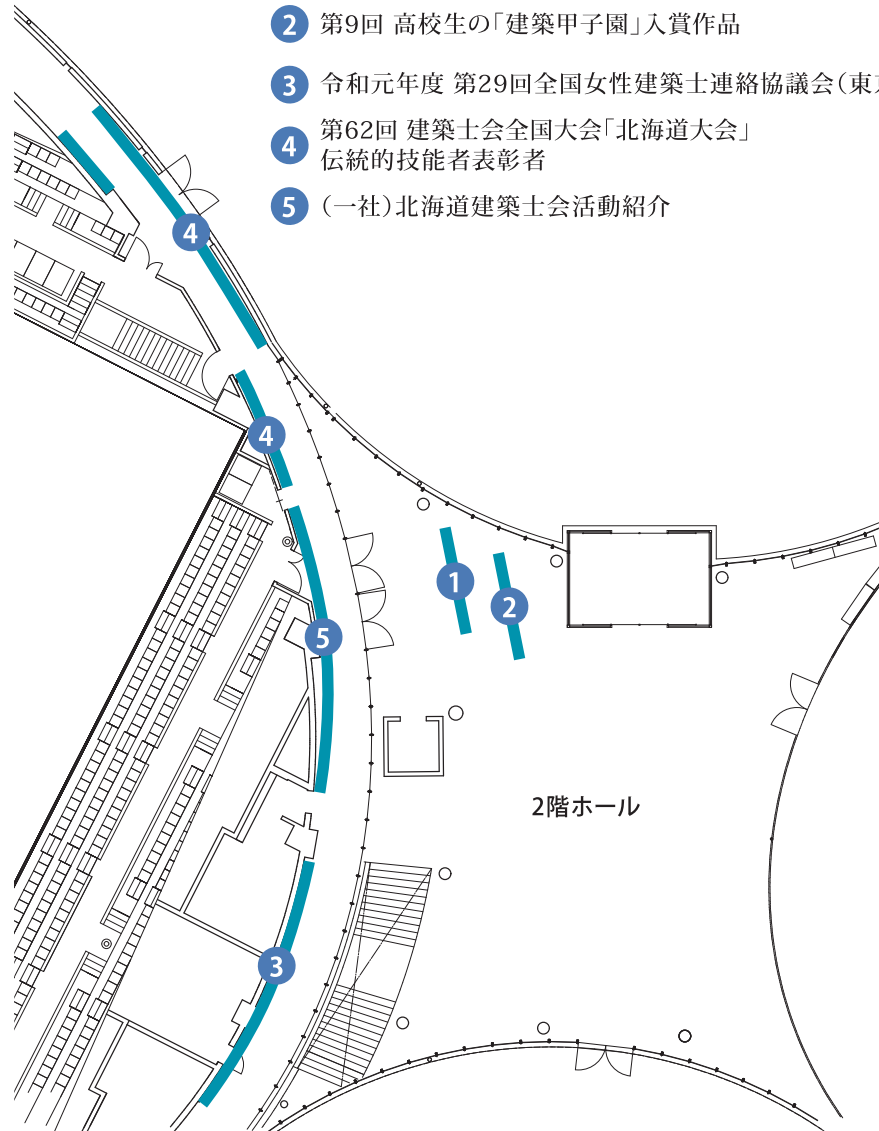
大会旗引継
 次期開催地会長挨拶 一般社団法人 広島県建築士会 会長 元廣 清志
 閉会挨拶 一般社団法人 北海道建築士会 副会長 鈴木 基伸

大会式典会場案内



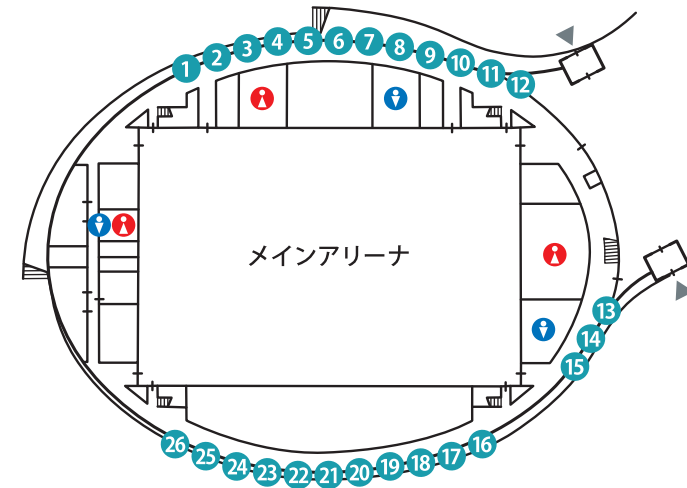
記念展示 2階ホール

- 1 第47回 日本建築士会連合会賞 入賞作品
- 2 第9回 高校生の「建築甲子園」入賞作品
- 3 令和元年度 第29回全国女性建築士連絡協議会(東京)
- 4 第62回 建築士会全国大会「北海道大会」
伝統的技能者表彰者
- 5 (一社)北海道建築士会活動紹介



企業出展 1階メインアリーナ回廊

- 1 株式会社メルシー
フットケアの体感
- 2 福井コンピュータアーキテクト株式会社
BIMソフト紹介
- 3 レノボ・ジャパン株式会社
ワークステーション紹介
- 4 株式会社 構造システム
構造・省エネソフト紹介
- 5 オートデスク株式会社
BIMソフト紹介
- 6 グラフィソフトジャパン株式会社
BIMソフト紹介
- 7 エーアンドエー株式会社
BIMソフト紹介
- 8 株式会社 三城
図面共有システム紹介
- 9 株式会社 建築資料研究社/日建学院
事業内容説明
- 10 株式会社 総合資格
事業内容説明
- 11 ライフオーガナイザー
セミナー案内
- 12 道南スギ産地形成推進協議会
はこだて森林認証推進協議会
道南スギと森林認証



- 13 田島ルーフィング株式会社
床材展示
- 14 株式会社 U F G
床材展示
- 15 北海鋼機株式会社
製品サンプル展示
- 16 東西アスファルト事業協同組合
建築防水材展示
- 17 株式会社プロテック
建築防水材展示
- 18 YKK AP株式会社
製品サンプル展示
- 19 JFEシビル株式会社
システム建築紹介
- 20 株式会社 KARVI JAPAN
省エネ窓展示
- 21 錦城護謨株式会社
視覚障がい者誘導マット展示
- 22 山形砕石株式会社
地盤改良の紹介
- 23 日本ヒューム株式会社北海道支社
杭工事工法紹介
- 24 株式会社 三誠
杭工事工法紹介
- 25 三和シャッター工業株式会社
製品サンプル展示
- 26 クマリフト株式会社
ダムウエーターデモ機展示

地域交流見学会(エクスカージョン)

A コース (徒歩2km 3時間)

函館の歴史的建造物街並見学

函館市地域交流まちづくりセンター

1923(大正12)年築の旧丸井今井百貨店函館支店の建物は当時の十字街の繁栄の中心。2007(平成19)年に大改修し、現在は地域の交流施設として活用。1930(昭和5)年の増築時に最新式のエレベーターが取り付けられ、これが東北・北海道で最も早く設置されたエレベーターとなる。

カトリック元町教会

最初の教会堂は1859(安政6)年創建。現在の建物は1923(大正12)年に再建。大聖堂内の祭壇はローマ法王から贈られたもの。元町の代表的風景、教会群の一角を占める。

函館ハリストス正教会

日本初のロシア正教会聖堂。白壁と緑屋根の対比が美しく、函館を代表する歴史的建造物。現存する聖堂は1916年築。週末などには美しい鐘の音色が響きわたる。

函館市旧イギリス領事館(開港記念館)

1913(大正2)年築、1934年まで領事館として使用。1992年改装して開港記念館として一般開放。2009年、全面リニューアル。内部にはティールーム、英国雑貨店併設。



函館市地域交流まちづくりセンター



カトリック元町教会

最少催行人員 … 30名
参加費 … 2,000円
旅行条件 … 徒歩
施設入場料込み

9月22日(日) 9:00~12:00

- 9:00 函館市地域交流
まちづくりセンター(集合)
- ▼
- 東本願寺函館別院
- ▼
- カトリック元町教会
- ▼
- 函館ハリストス正教会
- ▼
- 旧北海道庁函館支庁庁舎
(函館市元町観光案内所)
- ▼
- 旧相馬邸
- ▼
- 旧イギリス領事館
- ▼
- 旧日本銀行函館支店
(函館市北方民族資料館)
- ▼
- 旧第一銀行函館支店
(函館市文学館)
- ▼
- 12:00 赤レンガ倉庫群(解散)

地域交流見学会(エクスカージョン)

B コース (貸切バス 8時間)

函館の重要文化財見学

五稜郭タワー(五稜郭歴史回廊)

特別史跡五稜郭の入口に2006(平成18)年に建替えられた。五稜郭タワーの展望台2階には展示スペースがあり、五稜郭や箱館戦争などの歴史を詳しく学べるグラフィック展示や、16の情景模型が設置されている。

箱館奉行所

江戸時代末期に現在の元町公園から五稜郭に移転、箱館戦争を経て解体された。2010(平成22)年に部分復元が終了、内部が一般公開されている歴史的復元建造物。

東本願寺函館別院

1907(明治40)年の大火で類焼、1915(大正4)年建替えに際して日本初の鉄筋コンクリート造りとした。二十間坂沿いに威風堂々と建つ。国指定重要文化財で、正式名は真宗大谷派函館別院。

高龍寺

創建1633(寛永10)年は市内最古(当時は亀田村に)。現在の船見町の本堂は1899(明治32)年築。山門の総けやきの彫刻が見事。



五稜郭タワー(五稜郭歴史回廊)



高龍寺

最少催行人員 … 30名
参加費 … 8,000円
旅行条件 … バス
昼食・施設入場料込み



昼食(カレー洋食セット)

9月22日(日)9:00~16:45(17:15)

- 9:00 JR函館駅(集合)
- ▼
- 五稜郭タワー
- ▼
- 箱館奉行所
- ▼
- 遺愛学院(旧遺愛女学校)
(耐震工事見学)
- ▼
- 旧函館区公会堂
(耐震工事見学)
- ▼
- 函館ハリストス正教会
- ▼
- 昼食(レストラン「五島軒」)
- ▼
- 東本願寺函館別院
- ▼
- 太刀川家住宅店舗
- ▼
- 高龍寺
- ▼
- 赤レンガ倉庫群
- ▼
- 16:45 JR函館駅(解散)
- ▼
- 17:15 函館空港(解散)

地域交流見学会(エクスカージョン)

● コース (徒歩2km 2.5時間)

函館の近代建築見学

旧梅津商店(はこだて工芸舎)

かつての歓楽街「銀座通り」入口の顔として、小ぶりながらも威風堂々と構えている1934(昭和9)年築の建物。函館の栄華を垣間見ることができる。現在はギャラリーショップが営業。

旧函館郵便局(はこだて明治館)

1911(明治44)年に函館郵便局として建てられた赤レンガの重厚な建造物。1983(昭和58)年から商業施設として生まれ変わり、現在はショッピングモールとして活用されている。

箱館高田屋嘉兵衛資料館

「箱館発展の恩人」と称される淡路島生れの豪商・高田屋嘉兵衛は、私財を投じて箱館の基盤整備事業を実施し、造船所を建設した。その関連資料と北前船にまつわる資料が展示されている。1903(明治36)年築の建物。

赤レンガ倉庫群

ベイエリアに建つ函館の代表的な観光スポット。1909(明治42)年建築、1988(昭和63)年に全面リニューアルし、ショッピングモール、ビアホール、イベントホールなどとして営業。



旧梅津商店(はこだて工芸舎)



旧函館郵便局(はこだて明治館)

最少催行人員 … 30名
参加費 … 1,000円
旅行条件 … 徒歩
施設入場料込み

9月22日(日) 9:30~12:00

9:30 函館市地域交流
まちづくりセンター(集合)

旧入村質店(茶房ひし伊)

旧衛生湯(美容室あみん)

旧ホテル中央荘

旧対馬理容院
(ラッキーピエロ)

旧梅津商店
(はこだて工芸舎)

旧函館郵便局
(はこだて明治館)

箱館高田屋嘉兵衛資料館

12:00 赤レンガ倉庫群(解散)

地域交流見学会(エクスカージョン)

● コース (貸切バス 9時間)

日本遺産「江差いにしえ街道」散策

開陽丸記念館

1868(明治元)年に江差沖で座礁沈没した、旧幕府軍の開陽丸を実物大で復元。榎本武揚など乗組員の様子、貴重資料、遺物など3,000点を展示。音による大砲発射体験、操船体験もできる。

かもめ島

ニシン漁や北前船交易の舞台となった江差港の一角にある陸繋島。上空から見ると、かもめが羽を広げたような形が特徴的。島からの夕日と日本海の眺めは絶景で、函館から足を運ぶ価値あり。

旧中村家住宅

江戸の末から明治にかけて、近江出身の呉服商が建てたとされる。江差の商家、回船問屋建築の典型。1971(昭和46)年重要文化財に指定。1981(昭和56)年保存修理工事が竣工。

いにしえ街道

江差は17世紀以降、日本海航路の北前船の基地として繁栄を謳歌。多くの建築遺産の残る中歌、姥神町一带を「歴史を生かすまちづくり事業「いにしえ街道」」として整備、2004(平成16)年から供用開始。



開陽丸



いにしえ街道

9月22日(日)8:30~17:20(17:50)

8:30 JR函館駅(集合)

開陽丸記念館

かもめ島

旧中村家住宅

江差追分会館・
江差山車会館

昼食(お食事処 えざしや)

いにしえ街道 散策

江差追分全国大会

JR新函館北斗駅

17:20 JR函館駅(解散)

17:50 函館空港(解散)

最少催行人員 … 30名
参加費 … 12,000円
旅行条件 … バス
昼食・施設入場料込み
江差追分全国大会入場券付



昼食(鯉そばオリジナルセット)

地域交流見学会(エクスカージョン)

E コース (貸切バス 10時間)

縄文遺跡とニセコ・小樽の街並見学

函館市縄文文化交流センター

北海道唯一の国宝「中空土偶」を常設展示する博物館。函館市内(南茅部地区)の遺跡から発掘された、縄文時代の石器や土器、装飾品などの遺物約1,200点も展示。

ニセコ酒造

大正5年創業。「加水調整をしない原酒」・「水」・「空気」・「環境」にこだわる酒蔵で、水はニセコワイス山系の雪清水と、羊蹄山からの「噴出し湧水」を使用。蔵は、低温発酵に適している豪雪のかまくら状態の地区にあり。

ニッカウキスキー工場

石造りの美しい正門を入ると1936(昭和11)年にウイスキーづくりが始まった15万㎡にわたる余市蒸溜所が広がり、一号貯蔵庫は、床は土のままに最適な湿度が保ち、外壁は石づくりで夏でも冷気が保てるよう設計されている。

小樽運河

小樽運河は大正12年完成、内陸を掘り込んだ運河ではなく、海岸の沖合いを埋立てて造られ、直線ではなく緩やかに湾曲しているのが特徴。運河の全長は1,140mで、幅は道道臨港線に沿った部分が20m、北部は40mとなっている。



函館市縄文文化交流センター



小樽運河

最少催行人員…30名
参加費…15,000円
旅行条件…バス
昼食・施設入場料込み



昼食(かなやのかにめし)

9月22日(日) 8:00~18:00

8:00 JR函館駅(集合)

函館市
縄文文化交流センター

丘の駅
「噴火湾パノラマパーク」

昼食(車中)

道の駅
「ニセコビュープラザ」
(ニセコ酒造試飲)

ニッカウキスキー工場

小樽運河

18:00 JR札幌駅(解散)

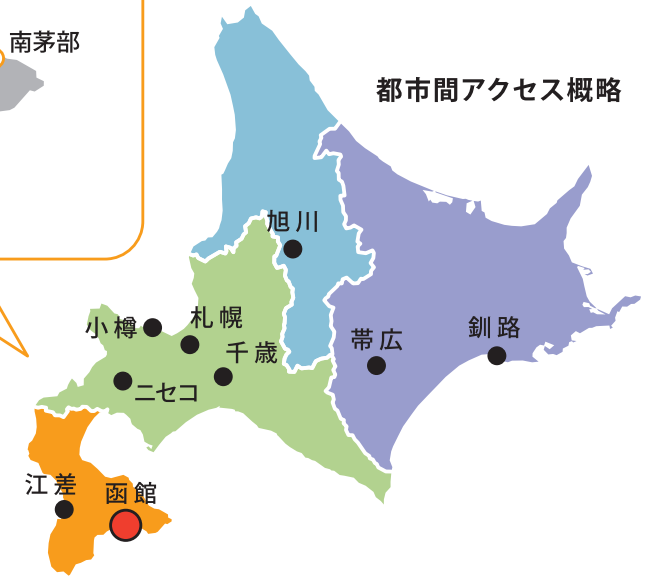
各ルート・都市間アクセス



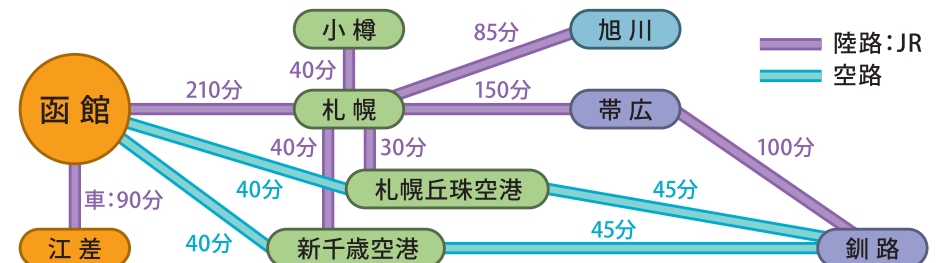
コース概略ルート

- D 江差にしえ街道散策コース
- E 縄文遺跡とニセコ小樽の街並見学コース

都市間アクセス概略



函館からのアクセス



来賓芳名

国土交通省

林野庁

行政関係

北海道知事 鈴木 直道
 函館市長 工藤 壽樹
 国土交通省北海道開発局 局長 後藤 貞二
 国土交通省北海道開発局 営繕部長 増田 正一
 国土交通省北海道開発局 事業振興部長 高橋 季承
 国土交通省北海道開発局 函館開発建設部長 樺澤 孝人
 北海道建設部 建築企画監 平向 邦夫
 北海道建設部 住宅局長 椿谷 敏雄
 北海道建設部 建築局長 大野 雄一
 北海道建設部住宅局建築指導課 課長 西澤 拓哉
 北海道建設部住宅局建築安全担当課 課長 丹崎 健治
 北海道建設部建築局計画管理課 課長 細谷 俊人
 北海道渡島総合振興局 局長 佐々木 徹
 北海道渡島総合振興局副局長兼檜山振興局副局長 坂野 伸治
 北海道渡島総合振興局函館建設管理部 部長 山田 聡
 北海道渡島総合振興局函館建設管理部建設行政室建設指導課 課長 亀山 裕康
 北海道渡島総合振興局函館建設管理部建設行政室建設指導課 主幹 梅田 竜也
 北海道檜山振興局 局長 永山 秀明
 北海道檜山振興局産業振興部 部長 坪井 隆徳
 北海道檜山振興局産業振興部建設指導課 課長 平井 敬明
 地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部長兼北方建築総合研究所所長 長浜 光弘
 北斗市長 池田 達雄
 松前町長 石山 英雄
 福島町長 鳴海 清春
 知内町長 西山 和夫
 木古内町長 大森伊佐緒
 七飯町長 中宮 安一
 鹿部町長 盛田 昌彦
 森町長 梶谷 恵造
 八雲町長 岩村 克詔
 長万部町長 木幡 正志
 江差町長 照井誉之介
 上ノ国町長 工藤 昇

厚沢部町長 渋田 正己
 乙部町長 寺島 努
 奥尻町長 新村 卓実
 今金町長 外崎 秀人
 せたな町長 高橋 貞光
 札幌市長 秋元 克広
 小樽市長 迫 俊哉
 釧路市長 蝦名 大也
 苫小牧市長 岩倉 博文
 室蘭市長 青山 剛
 旭川市長 西川 将人
 帯広市長 米沢 則寿
 北見市長 辻 直孝
 江別市長 三好 昇

大韓建築士協會

大韓建築士協會 會長 石 正勳
 大韓建築士協會 國際委員會諮問委員 姜 鎬元

関係団体

(公財)建築技術教育普及センター 理事長 井上 勝徳
 (公財)建築技術教育普及センター 理事 渡辺 均
 (公財)建築技術教育普及センター 業務部次長 米田 安利
 (公財)建築技術教育普及センター 総務部長 中川 家一
 (公財)建築技術教育普及センター 業務部長 田中 思考
 (一財)日本建築センター 理事長 橋本 公博
 (一社)日本建築士事務所協会連合会 会長 佐々木宏幸
 (一社)日本建築士事務所協会連合会 専務理事 居谷 献弥
 (一社)日本建築士事務所協会連合会 事務局長 前田 敏明
 (公社)日本建築家協会 会長 六鹿 正治
 (公社)日本建築家協会 会長補佐 森 暢郎
 (公社)日本建築家協会 専務理事 筒井 信也
 (一社)日本建築学会 会長 竹脇 出
 (一社)日本建築学会 事務局長 森山 一之
 (一財)日本建築防災協会 理事長 坂本 功
 (一財)日本建築防災協会 専務理事 石崎 和志
 (一財)日本建築防災協会 参与 高橋 吉徳
 (一財)日本建築防災協会 理事兼事務局長 内田 仁
 (一社)日本建設業連合会 会長 山内 隆司

来賓芳名

関係団体

(一社)日本建設業連合会 専務理事 菱田 一
 (一財)住宅保証支援機構 理事長 佐々木 宏
 (一財)住宅保証支援機構 専務理事 白井 浩一
 (一社)建築設備技術者協会 会長 野部 達夫
 (一社)建築設備技術者協会 専務理事 山下 浩一
 (一社)建築設備技術者協会 事務局長 高比良直樹
 (一社)全国建設業協会 会長 近藤 晴貞
 (公社)ロングライフビル推進協会 会長 押味 至一
 (公社)ロングライフビル推進協会 専務理事 田中 淳
 (一社)全日本建築士会 会長 佐藤 理
 (一社)日本建築構造技術者協会 会長 常木 康弘
 (一社)日本建築構造技術者協会 副会長 嵐山 正樹
 (一社)日本建築構造技術者協会 専務理事 福島 正隆
 (公社)日本建築積算協会 会長 吉田 倬郎
 (公社)日本建築積算協会 副会長・専務理事 加納 恒也
 (一財)ベターリビング 理事長 井上 俊之
 (一財)日本建築設備・昇降機センター 理事長 村岸 明
 (一財)日本建築設備・昇降機センター 専務理事 小川 陵介
 (一財)日本建築設備・昇降機センター 顧問 杉山 義孝
 (一財)建築行政情報センター 理事長 笹井 俊克
 日本伝統建築技術保存会 会長 鳥羽瀬公二
 (公社)全国市街地再開発協会 理事長 大村謙二郎
 (公社)住宅リフォーム・紛争処理支援センター 理事長 杉藤 崇
 (公社)住宅リフォーム・紛争処理支援センター 専務理事 後藤 隆之
 田島ルーフィング(株) 営業部企画本部広報企画室長 河合 宏
 (一財)住宅改良開発公社 理事長 生亀 孝志
 (一社)日本自走式駐車場工業会 理事長 飯島登美夫
 (一社)日本自走式駐車場工業会 専務理事 高津 充良
 (一財)建築環境・省エネルギー機構 理事長 村上 周三
 (一財)建築環境・省エネルギー機構 専務理事 金井 昭典
 (一財)建築環境・省エネルギー機構 総務部長 橋本 進
 (一財)住宅生産振興財団 会長 三井 康壽
 (一財)住宅生産振興財団 専務理事 青木 徹
 (一財)住宅生産振興財団 事務局長 後藤 裕
 (一社)プレハブ建築協会 会長 芳井 敬一
 (一社)プレハブ建築協会 専務理事 合田 純一

住宅保証機構(株) 代表取締役社長 小川 富由
 (一財)高齢者住宅財団 理事長 那珂 正
 (株)日本建築住宅センター 取締役会長 松野 仁
 北海道木材協同組合連合会 会長 松原 正和
 北海道木材協同組合連合会 副会長 内田 敏博

関係団体(北海道)

(公財)建築技術教育普及センター 北海道支部長 中岡 正憲
 (一財)北海道建築指導センター 理事長 石塚 弘
 (一社)北海道建築士事務所協会 会長 庄司 雅美
 (一社)北海道建築技術協会 会長 石山 祐二
 (公社)日本建築家協会 北海道支部長 遠藤謙一良
 (一社)日本建築構造技術者協会 北海道支部長 渡邊 和之
 (公社)日本建築積算協会 北海道支部長 富田 克己
 (一社)日本建築学会 北海道支部長 千歩 修
 (一社)北海道建設業協会 会長 岩田 圭剛
 (一社)プレハブ建築協会 北海道支部長 三原 康展
 北海道インテリアプランナー協会 会長 内村 喜憲
 (一社)北海道設備設計事務所協会 会長 山田 修
 (一社)建築設備技術者協会 北海道支部長 里中 雅幸
 (一社)北海道電業協会 会長 吉本 浩昌
 (一社)北海道空調衛生工事業協会 会長 池田 薫
 東西アスファルト事業協同組合 理事長 濱野 充史
 (一社)北海道まちづくり協議会 会長 能戸 裕之
 (一社)函館建設業協会 会長 森川 基嗣
 渡島建設協会 会長 福西 秀和
 檜山建設協会 会長 小林 誠
 (一社)北海道建築士事務所協会 函館支部長 松見 修二
 (一社)北海道建築士事務所協会 松山支部長 大古 正平
 函館建築工業協同組合 理事長 亀田 隆史
 函館地区建築技能士会 会長 小西 義人
 函館建築板金事業協同組合 理事長 平田 昭市
 函館地方電気工事協同組合 理事長 玉津 眞史
 函館建具工業協同組合 理事長 田原 祥司
 函館管工事協同組合 理事長 村田 信吾
 函館地方左官業協同組合 理事長 木村 弘志
 南北海道塗装工業協同組合 理事長 平野 雅明

来賓芳名

国会議員

衆議院議員 吉川 貴盛
 衆議院議員 中村 裕之
 衆議院議員 和田 義明
 衆議院議員 伊東 良孝
 衆議院議員 堀井 学
 衆議院議員 武部 新
 衆議院議員 稲津 久
 衆議院議員 道下 大樹
 衆議院議員 荒井 聰
 衆議院議員 佐々木隆博
 衆議院議員 逢坂 誠二
 衆議院議員 石川 香織

道議会議員

北海道議会議長 村田 憲俊
 北海道議会副議長 高橋 亨
 北海道議会議員 佐々木俊雄
 北海道議会議員 川尻 秀之
 北海道議会議員 滝口 直人

市議会議員

函館市議会議長 工藤 恵美

報道関係

日刊建設工業新聞社
 日刊建設通信新聞社
 日刊建設産業新聞社
 建通新聞社
 日本住宅新聞社
 新建新聞社
 北海道建設新聞社
 北海道建設新聞社 函館支社
 日刊建設通信新聞社 北海道支局
 北海道通信社
 北海道通信社 函館支社
 日刊建設工業新聞社 北海道総局

衆議院議員 渡邊 孝一
 衆議院議員 鈴木 貴子
 衆議院議員 船橋 利実
 衆議院議員 佐藤 英道
 衆議院議員 本多 平直
 衆議院議員 池田 真紀
 衆議院議員 神谷 裕
 衆議院議員 山岡 達丸
 参議院議員 長谷川 岳
 参議院議員 徳永 エリ
 参議院議員 鉢呂 吉雄

北海道議会議員 富原 亮
 北海道議会議員 内田 尊之
 北海道議会議員 平出 陽子
 北海道議会議員 笹田 浩
 北海道議会議員 志賀谷 隆

北海道住宅通信社
 北海道住宅新聞社
 北海道新聞社
 北海道新聞社 函館支社
 函館新聞社
 朝日新聞社 北海道支社
 朝日新聞社 函館支局
 毎日新聞社 北海道支社
 毎日新聞社 函館支局
 読売新聞社 東京本社 北海道支社
 読売新聞社 函館支局

表彰者

令和元年度 連合会会長表彰

北海道 三木 紀一 大槻 泰夫
 成田 斉 池田 浩司
 成田 茂利 内海 純一

青森 黄金崎 勉
 岩手 千葉 隆夫 西倉 正三
 金田 義徳
 宮城 高橋 俊光
 秋田 田仲 雅美 伊藤 一
 山形 阿部 利広 後藤敬一郎
 福島 斎藤 政利 吉田 誠一
 渡邊 俊典

茨城 篠原 武司 森 均
 成田 孝成 豊崎 晋也
 栃木 武井 貴志 亀山 文彦
 石川 昭男

群馬 細金 義光 飯塚 與一
 松本あい子
 埼玉 加藤 正志 中野万紀子
 千葉 蘆理美登志 鈴木 喜人
 森本 正孝

東京 平野 晴茂 五十嵐敏員
 高安 重一 川崎 洋子
 高橋 豊 植野 糾
 篠 節子

神奈川 金子 修司 原 昌吾
 米山 昇 有泉ひとみ
 山梨 松木 謙 望月 雄二
 齊藤 一恵

長野 池田 豊雄 赤羽 直美
 新潟 石井 信子 滝沢 博之
 内藤 一恵 本間 裕之

表彰者

令和元年度 連合会会長表彰

静岡	松下 好宏	金子 弘一
愛知	浅井 幸夫	梶浦 雅彦
	坂口 博文	上部 立哉
	野村 幸彦	
岐阜	小林 輝雄	狭場 芳男
	福野 嘉彦	
三重	地主 昌美	片山 正司
富山	平野 明	山下 重利
	林 芳宏	
石川	田尻 純江	山崎 秀雄
	中堀 晃	
福井	永井 弘明	山田 一泰
滋賀	坂田 徳一	
京都	高木 伸人	山口 益人
	上野 明	
大阪	北野 幹夫	中島 薫
	津村 泰夫	西野 智子
兵庫	山本 建志	池口 善啓
	柳澤安喜夫	
奈良	的場 清	出野 光男
和歌山	稲葉由美子	
鳥取	小谷 正	井手添 誠
島根	今津 光男	常松 秀規
	山田 裕志	
岡山	江端 恭臣	安田 年一
広島	上木 薫	佐名田敬荘
	今井 秀樹	
山口	文岡 博利	山本 秀孝
	保木 恒夫	
徳島	横尾 政明	鎌倉 和敏
	中山 茂	

表彰者

令和元年度 連合会会長表彰

香川	杉本 三枝	鉄川 裕崇
	中川 和樹	
愛媛	大上 恵子	木村 久司
	首藤 忠夫	
高知	喜多 泰之	岩戸 啓子
福岡	首藤 善雄	大寫 栄三
	井本 政弘	中野 寛
佐賀	山口美由起	江島 信行
長崎	松川 京子	富永 政巳
	平川 暁	
熊本	笹原 博明	羽山 眞澄
大分	鈴木 義弘	渡邊 豊基
	亀谷 芳久	
宮崎	鈴木 俊之	
鹿児島	松浦 俊秀	立石 功貴
	西蘭 幸弘	深野木 信
沖縄	池間 守	新川 清則

令和元年度 伝統の技能者表彰

北海道	渡邊 正博	京都	藤本 正
秋田	奥山 幸一	大阪	橋本 松男
山形	瀬野 信一	兵庫	後藤 榮勝
茨城	菊池 均	鳥取	山根 勝男
群馬	上田 彰	香川	六車 昭
千葉	渡邊 哲也	高知	森本 覚
東京	和田 三郎	佐賀	池田 徳治
新潟	皆川 一二	長崎	城 祐輔
愛知	石川 保	大分	佐藤 祐則
富山	澤田 忠幸	鹿児島	田代 和雄
石川	長尾 吉一		

協賛・協力

協賛団体 (一財)北海道建築指導センター

協賛企業 (株)総合資格
(株)建築資料研究社 / 日建学院
(株)サッコウケン協力 東西アスファルト事業協同組合
田島ルーフィング(株)
(一社)函館国際観光コンベンション協会
道南スギ産地形成推進協議会
はこだて森林認証推進協議会

北海道大会実行委員会

大会実行委員長	山内 一男				
大会事務局	石川 淳一 岡本 友美	渡辺 修司 鹿内多佳子	秋吉 利香	浦上 美穂	
総務・財務部会	山田 良彦 渡辺 修司	大原 公子	原田 徹	石川 淳一	
式典・大交流会・記念講演部会	牛田 健一	小町 美穂	工藤 誠		
広報・記念誌部会	西岡 誠	斎藤 勝哉	田嶋 英人	藤島 浩一	
出展・展示部会	西岡 誠	伊藤 隆英	田嶋 英人	金山 仁志	
会場・行事部会	針ヶ谷拓己 関川 修司 川原 昌彦 杉山 友和	本間 恵美 清水 浩史 往田 協子 安達あけみ	朝倉 友和 松本 純 内海 純一	工藤美智子 山田 直登 原 一彦	
エクスカージョン部会	牛田 健一	清水 浩史	中澤 篤	佐藤 久	

表彰者

令和元年度 日本建築士会連合会賞

優秀賞 設計者: 安野 芳彦 (東京建築士会) 作品名: ゆいの森あらかわ
設計者: 根本 雅明 (東京建築士会) 作品名: アマダ記念会館
設計者: 阿曾 芙実 (大阪府建築士会) 作品名: HAT house -生きていく 住まい-
設計者: 花岡 郁哉 (東京建築士会) 作品名: 日本海事検定協会本部ビル
福西 英知 (東京建築士会)
設計者: 丸山 晴之 (福井県建築士会) 作品名: ヒュッテナナナ

奨励賞 設計者: 慶野 正司 (栃木県建築士会) 作品名: すみれ乳児院
設計者: 堀越ふみ江 (東京建築士会) 作品名: SYNEGIC office
長谷川欣則 (東京建築士会)
設計者: 星野 時彦 (東京建築士会) 作品名: 猿倉山ビール醸造所
設計者: 久野 靖広 (東京建築士会) 作品名: 佐賀県歯科医師会館
坂本 一成 (東京建築士会)
小滝 健司 (東京建築士会)
設計者: 米津 正臣 (大阪府建築士会) 作品名: トヨタカローラ新大阪名神茨木店
三田村 聡 (大阪府建築士会)
設計者: 香川 貴範 (大阪府建築士会) 作品名: SPACSPACE HOUSE
設計者: 浅井 裕雄 (愛知建築士会) 作品名: 工場に家
設計者: 寺村 雄機 (大阪府建築士会) 作品名: 竹中研修所「匠」新館
設計者: 石川 素樹 (東京建築士会) 作品名: 西参道テラス
設計者: 山路 哲生 (東京建築士会) 作品名: 恵比寿の家

特別賞 設計者: 佐田野 剛 (東京建築士会) 作品名: 旧 山口萬吉邸 / kudan house
新妻 優輔 (東京建築士会)
水野 吉樹 (東京建築士会)
設計者: 芦澤 竜一 (大阪府建築士会) 作品名: 南花田の住宅

アクセス



第62回 建築士会全国大会「北海道大会」開催おめでとうございます

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私ども総合資格学院は創業以来、「資格者の育成を通じ建設業界に貢献する」という理念の下、より多くの皆様に合格の二文字をお届けできるよう、常に日本一の講習システムの開発をめざしてきました。おかげさまで2018年度は「1級建築士も2級建築士も合格実績日本一」を達成しています。また、1級建築施工管理技士、宅建士などの資格試験でも多くの皆様に合格を勝ち取っていただいております。

今後も、受験生支援にとどまらず、多くの建築家との交流・支援や建築を志す学生のサポート、建築士会入会促進活動などを通じて、建設業界ならびに業界に関わる皆様のためにできることを、拡大・継続してまいります。



総合資格学院
学院長 岸 隆司

TBS系報道番組
「サンデーモーニング」で
～2019.9
TVCM放送中!
YouTubeの
公式チャンネルでも
公開中です

その一本の線から、
街は生まれる。

総合資格学院は
1級建築士試験も
2級建築士試験も
「日本一」の合格実績!

No.1

2018～2014年度
1級建築士 学科+設計製図試験

全国ストレート合格者合計 8,080名中/
総合資格学院受講生 5,004名
全国ストレート合格者の6割以上は
総合資格学院の受講生!



2018～2014年度
1級建築士 設計製図試験

全国合格者合計 18,464名中/
総合資格学院受講生 10,427名
全国合格者のおよそ6割は
総合資格学院の受講生!



2018～2014年度
1級建築士 学科試験

全国合格者合計 23,360名中/
総合資格学院受講生 11,804名
全国合格者の2人に1人以上は
総合資格学院の受講生!



2018年度 2級建築士 設計製図試験

資格取得スクールとしてNo.1の
合格実績を達成しました!

総合資格学院
当年度受講生合格者数 2,179名

全国合格率54.9%に対して
総合資格学院
基準達成
当年度受講生合格率 87.1%

8割出席・8割宿題提出・模擬試験2ランク1-A達成
当年度受講生703名中/合格者612名
(2018年12月18日現在)

※全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※全国合格者5,997名中、総合資格学院合格者2,179名・日建学院合格者2,137名・その他合格者1,681名 ※前記、合格実績および合格者の内訳は2018年12月1日現在のものです。
※出典: <http://www.ksknet.co.jp/nikken/index.aspx>

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみを受験生、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。
※全国合格者数・全国ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士学科試験にストレートで合格した方です。

1級・2級 建築士 構造設計 1級建築士 設備設計 1級建築士 建築設備士 インテリア コーディネーター 1級・2級 建築施工管理技士 1級・2級 土木施工管理技士 1級・2級 建築施工管理技士 賃貸不動産 経営管理士

【法定講習】監理技術者講習 / 一級・二級・木造建築士定期講習 / 管理建築士講習 / 宅建登録講習 / 宅建登録実務講習 / 第一種電気工事士定期講習

総合資格学院

全国約90の拠点
東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル22階 TEL.03-3340-2810
スクリーンサイト www.shikaku.co.jp Facebook (総合資格 社)で検索!
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp 総合資格 検索





一般財団法人

北海道建築指導センター

理事長 石塚 弘

第62回建築士会全国大会「北海道大会」の開催を心より祝い申し上げます。

当センターは、本道の住宅性能の向上と消費者保護、住宅産業の振興に取り組み、社会と人に寄り添い、頼りになるセンターを目指しています。

マスコットキャラクター
「ハウリー」



次世代住宅ポイント

対象住宅証明書の発行
業務もやっていますよ

主な取扱業務

- ・住宅相談事業
- ・きた住まいる推進事業
- ・きた住まいるサポートシステム
- ・建築確認検査
- ・住宅性能評価
- ・適合証明（フラット35）
- ・住宅瑕疵担保責任保険
- ・住まい給付金
- ・昇降機等定期報告

〒060-0003

札幌市中央区北3条西3丁目1札幌北三条ビル8F

TEL: (011) 241-1893 FAX: (011) 232-2870

HP: <https://www.hokkaido-ksc.or.jp>

皆さまの合格実績に支えられ



私も日建で
頑張りました。

1級建築士合格/橋本 優香さん

あなたの夢、応援します。

日建学院

1級建築士 合格実績
No.1

結 令和の新時代も
努力を結果に結びつける

日建学院平成30年間の合格実績
(1989年~2018年)
1級建築士 90,284人 (全国累計 158,307人)
当学院の
1級建築士
合格者占有率 **57.0%**
平成の30年間に誕生した1級建築士の半分以上が日建学院生です!
2級建築士累計 142,565人 宅建士累計 91,008人

※上記全国累計は(公)財)建築技術教育普及センター発表試験結果(1989~2018年)のデータです。

日建学院コールセンター

☎0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1
受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)

さらに便利に!さらにスピーディーに! 省エネ適判から確認申請までワンストップ審査!



省エネ適合性判定審査 キャンペーン実施中!!

2,000㎡超え5,000㎡以内の特定建築物の場合

例えば ~~180,000円~~ → 126,000円

※上記料金は、モデル建物法の料金です。

ルート2審査手数料割引も実施中!!

確認申請 + 省エネ適判 セットで
申請すると

省エネ適判審査手数料

30% 割引



株式会社 **サッコウケン**
Confidence・Neutrality・Fairness

札幌市中央区南1条東2丁目6番地 大通バスセンタービル2号館9階
TEL 011-887-6585 FAX 011-222-7855 <http://www.sakoken.jp>

乗って、観て、買って、食べて!!

「のりもの券」と15枚の「ポイント券」で函館観光をお得に満喫!

マルとて 1冊 (税込)
得 2,700円

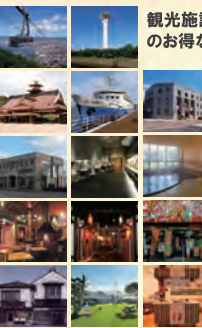
はこだてスペシャルチケット

①プランに応じた1日乗車券に交換できる「のりもの券」がお得!



街歩きを始める前に、
まずはお客様の観光プランに合わせて「のりもの券」を
1日乗車券に交換!
便利に観光地を結ぶ「函館市電」または観光路線が
充実している「函館バス」のどちらかをお選びください。

②お目当ての施設を選んで遊べる「ポイント券」がお得!



観光施設や飲食店など22施設から選択して利用可能な15枚
のお得な「ポイント券」で函館観光を満喫!

チケット販売場所

- 函館市観光案内所 (JR函館駅構内)
営業時間: 9:00 ~ 19:00
- 函館市元町観光案内所 (元町公園内)
営業時間: 9:00 ~ 17:00 ※7・8月 は ~ 19:00
- 函館空港 (国内線到着ロビー案内カウンター)
営業時間: 8:00 ~ 19:30頃
※航空機の運航状況により変動
- 津軽海峡フェリー函館フェリーターミナル
売店「SEAちゃん」
営業時間: 6:30 ~ 22:00
※季節により変動の可能性あり

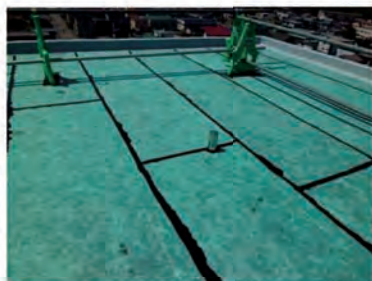
参加施設名	必要枚数	サービス内容	通常価格 (税込)
函館山ロープウェイ	8枚	搭乗料金(往復)	1,280円
五稜郭タワー	6枚	展望料金	900円
箱館奉行所	3枚	入館料金	500円
青函連絡船記念館摩周丸	3枚	入館料金	500円
函館市北方民族資料館	2枚	入館料金	300円
函館市文学館	2枚	入館料金	300円
函館市旧イギリス領事館	1枚	入館料金	300円
土方・啄木浪速館	5枚	入館料金	800円
函館市縄文文化交流センター	2枚	入館料金	300円
KKRはこだて	4枚	日帰り入浴料金	700円
ベイサイドレストランみなとの森	9枚	トマトモグッラのマルゲリータダザ	1,382円
函館まるかつ水産いいか亭	9枚	お魚の定食各種より選択	1,350円
函館ピヤホール	4枚	北海道限定ソフトドリンク(小)	594円
函館ひかりの舞台 大門横丁	1枚	金券利用(150円)※お別れはできません	185円
ラッキーピエロ (函館市内全店で利用可)	6枚	チャイニーズチキンバーガー、ポテト(小)、クーポン券(M)のセット	907円
ハセガスタア (函館市内全店で利用可)	3枚	やきとり弁当(小)	490円
ウイリアムズ (函館市旧イギリス領事館内)	5枚	ケーキ1品と紅茶又はコーヒー1杯のセット	855円
千秋庵総本家	1枚	函館フィナンシェ	160円
函館酪農公社あいす118	2枚	ソフトクリーム	300円
函館洋菓子ナッフルス(金箔洋物館・駅前店)	1枚	金券利用(150円)※お別れはできません	185円
函館空港ホッパルカス(2F売店・3Fレストラン)	1枚	金券利用(150円)※お別れはできません	185円
土産ものや「函館」	1枚	金券利用(150円)※お別れはできません	185円

※表記の通常価格については2019年3月時点のもので、変更される場合がございますが、表記の必要枚数でご利用とさせていただきます。

アスファルト防水のエキスパートとして歩んだ「63年」



東西アスファルト事業協同組合



新築のみならず、改修にも適した本格アスファルト防水



BANKS工法 無釜型アスファルト防水熱工法

道内施工実績 **70万㎡突破!**

超高耐久仕様 アスファルト防水は、新次元へ

APEX

標準耐用年数 新アスファルト防水・非砂付仕上げ 45年
新アスファルト防水・保護仕様 80年

「高耐久性」
通常の仕様と比較して、
より耐久性の高いものを採用
改修工事の回数減

「メンテナンス・更新の容易性」
通常のメンテナンス、および改修時の施工が、
より容易なものを採用
メンテナンス
改修施工コスト減

東西アスファルト事業協同組合

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西6-2-6 大樹生命札幌大通ビル3階
TEL 011-221-4014 FAX 011-222-3627

TAJIMA 田島ルーフィング株式会社

第62回 建築士会全国大会「北海道大会」

開催おめでとうございます

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東西アスファルト事業協同組合は1956年(昭和31年)に本邦初の防水工事業の協同組合として発足し、2016年に60周年を迎えました。防水層は優れた「材料」と「技術」から成り立ちます。我々は設立以降、防水材料メーカー「田島ルーフィング(株)」とタイアップすることにより、その両面を追求し続けております。

1966年(昭和41年)、日本で最初の防水を学ぶための学校「田島防水工事管理者養成所」を開校し、1996年(平成8年)にはアスファルト防水技能員向けの「東西アスファルト技能員養成所」を開校致しました。また絶対的な信頼を誇るアスファルト防水ですが、近年、問題視される臭い・煙といった周辺環境への影響に対してもいち早く着手し、溶融釜を使わずに従来の熱工法と同等以上の性能を誇る「BANKS」を開発致しました。2005年に発売された本工法は、2010年には技術審査証明を取得し、道内では「無釜型熱工法」として官民間問わず多くのご採用を頂いております。そして2017年(平成29年)には高耐久・長寿命化といったニーズに応えるべく、超高耐久仕様「APEX」を上梓致しました。

最高の材料と技術が作り上げる防水層は、皆様の快適な生活を守り続けます。これからも培った技術と経験を活かし、建設業界に貢献していく所存です。



第十五代 理事長
濱野 充史

技術研鑽と教育体制の確立



防水材料製造メーカー「田島ルーフィング(株)」とタイアップしたプロフェッショナルの育成

基本に忠実に、新技術は迅速に習得
「各種技術研修会」



防水材を製造段階から学ぶ「工場見学研修会」

これらの事業運営を通じて、常に技術力向上を目指しています。



施工技術を競う
「施工チャンピオン」

確かな技術と知識を持った組合員による劣化診断

昨今では多種多様な防水材が上梓されております。改修工事に於いては既存防水層との相性や劣化状況、施工する時期や周辺環境など様々な事項を検討し、新規防水仕様を選定する必要が御座います。また漏水は一概に防水の不具合だけではなく、外壁やシーリングなどが原因の場合も御座います。

我々は長年培った知識と経験によって建物を俯瞰し、診断することで最善の方法を導き出すことが出来ます。



全国142社に及ぶネットワーク 今回は北海道支部会員を紹介します

(組合員数は2019年6月現在)



- | | |
|--|---|
| <p><正組合員></p> <ul style="list-style-type: none"> ㈱アクアグレース エスアイ工業㈱ ㈱総合防水工事 東興アイテック㈱ ㈱濱建 ビルドプロテック㈱ 北海化学防水㈱ 北開技研工業㈱ ㈱札幌三星 ㈱山建産業 | <p><指定工事店></p> <ul style="list-style-type: none"> ㈱シオン ㈱シーファ 第一工業㈱ ナカイチ防水㈱ ㈱三浦工業 ㈱ライズアイテック <p>北海道支部
正組合員 10社
指定工事店 6社</p> |
|--|---|